

美唄市男女共同参画推進協議会会報

デュオ
Duo

デュオとはイタリア語で「二重唱」「二重奏」を意味します。

発行：美唄市男女共同参画推進協議会事務局

「男女共同参画いわみざわ」と 活動交流会を開催しました

去る7月24日、ピパの湯ゆ〜りん館にて、岩見沢市の男女共同参画団体「男女共同参画いわみざわ」の皆さんと活動交流会を開催しました。

きっかけは、男女共同参画いわみざわの笹嶋喜代子会長より開催のお誘いがあり、このたび交流を深める機会をいただいたものです。

両会長のあいさつと参加者の自己紹介ののち、両会の活動を紹介。

<デュオの会について>

国が制定した「男女共同参画基本法」に基づく美唄市の計画を策定するために設置された、市民15名からなる「美唄市男女共同参画社会づくり検討委員会」。この委員会において作られた原案をもとに、市は平成14年度「美唄市男女共同



(左から) 前川幹事、根賀会長、山田幹事

参画計画」を策定しました。当時のメンバーが中心となり、平成15年5月、市とともに標記計画を推進していく市民団体として「デュオの会」が発足しました。

現在、会員49名(うち男性17名)で活動しています。

活動内容は、講演会やパネル展の開催、年2回の広報発行・配布を行うなど、市民の皆さんに男女共同参画をもっと身近に・わかりやすく知っていただくための活動をしています。

<男女共同参画いわみざわについて>

『男女が共に支え合う幸せな社会づくり』をモットーに、今から約30年前の昭和58年に「婦人問題を学ぶ会」(当時の団体名)として発足された団体です。

現在、会員は2団体(消費者協会・母子寡婦福祉会)・個人62名で、主に60代～70代の会員で構成されています。

活動内容は、学習会、市議会の傍聴や市議会議員との意見交換会、講演会開催や広報発行のほか男女共同参画週間(6月23日～29日)に合わせた街頭啓発などの活動、



笹嶋会長

活動資金拠出のための出店(会員が、各自不用となった食器や雑貨など持ち寄り、フリーマーケット等において出品)など。

また、昨年の東日本大震災発生時には、被災地支援、特に「子どもや女性のための支援」として、すみやかに支援物資の寄付を呼びかけ、寄せられた段ボール9箱分もの物資を被災地に送られたそうです。

<会員さんのお話から>

男女共同参画いわみざわの会員の1人が、興味深い話をしてくれました。「男女共同参画いわみざわには、会合や催しへたまにしか参加できない人でも、気後れなくスッと参加できる雰囲気がある。なぜかは分からないけれど、この雰囲気のおかげで『参加できるときに参加する』という無理のない形で・気持ちで、会にたずさわることができるんです」。

いくら「助け合い」「支援」といっても、お互い無理し過ぎでは長続きしません。会員さんのお話をうかがい、「できる時に・できる人が・できることをする」という男女共同参画の基本的な意識を忘れずに、これからも活動していこうと思いました。

<最後に>

交流会のあと、引き続きゆ〜りん館で昼食をいただきました。皆さん「どれもおいしい」と大好評。楽しく和気あいあいと親睦を深め合うことができました。



どんなに小さなことでも、私たちデュオの会にできることがまだまだあるのではないだろうか。今回の交流会を通じて、改めて感じたところです。

このようなきっかけを与えてくださった笹嶋会長をはじめ、会員の皆さんに心から感謝します。

男女共同参画いわみざわとの活動交流会に参加して

前川和子

市内の「ピパの湯ゆ〜りん館」にて開催された活動交流会に、岩見沢より14名、私たちデュオの会からは事務局を含め5名が参加しました。

男女共同参画いわみざわは、会員自ら事務局を務められているなど、行政とは別の、独立した会です。自分たちで企画・参画して主催事業をこなされ、平成21年に子育て応援ひろば「さんかくぼうし」を立ち上げられたり、年2回「かがやき」という会報を発行されたりするなど、精力的にたくさんの事業を行っておられます。

来年に設立30周年を迎えられる男女共同参画いわみざわ。「『会の長たるものはながく長を務めず、後輩に引き継ぎ、次の世代の会員の育成に努める』ということが、会を長続きさせることにつながる」、と力を入れておっしゃっていた言葉が、深く印象に残りました。

皆さん、自分たちのライフワークをしっかりとお持ちの方々ばかり。自分も遅ればせながら「もう少し」ではありますが、頑張ろうと思いました。



(前列左から2人目)

男女共同参画パネル展を 開催しました

6月23日～29日は「男女共同参画週間」です。それに先立ち、6月5日～11日まで、コアビバイ内の市民ふれあいサロンにて、パネル展を実施しました。



テーマは「高齢社会～男女の概況～」。札幌市にある「北海道立女性プラザ」からお借りしたパネル8枚を展示しました。

パネルでは、一人暮らしの高齢者の方の割合や、近所の人とのかかわりの頻度、また、高齢者が高齢者を介護するという「老老介護」の現状のほか、介護に対する女性と男性の意識の違いなどが、イラストやグラフで分かりやすく紹介されています。



特に介護においては、「長寿大国」と呼ばれる日本が現在抱えている、最も深刻な課題の1つでもあります。私どもデュオの会が昨年開催した講演会でも「介護」をテーマに取り上げ、多くの皆さんにお越しいただきました。介護というのが私たちにとってとても身近な存在である、と改めて認識させられるところです。

また、男女共同参画に関する市の条例や計画、DV(配偶者などからの暴力)被害者に対する支援内容や手続き方法などを紹介したポスターも展示しました。



皆さんは「男女共同参画」と聞いて、どのようなことを連想しますか？それは堅苦しいことでは決してなく、「性別や今までの風習などにとらわれずに、ともに生き・ともに支え合う」ということです。

私たちデュオの会は、皆さんに男女共同参画をもっと身近に感じていただけるよう、さまざまな活動を行っています。

DV・デートDVに悩む方のための相談窓口

市や道では、配偶者や交際相手からの暴力等に悩む方からの相談をお受けしています。

配偶者の方については「配偶者からの暴力の防止および被害者の保護に関する法律」により、専門の相談や必要に応じて一時保護（施設入所）、配偶者の接近禁止などの申立制度などが定められています。配偶者暴力に関する法律等についてのお問い合わせや、デートDVに関する悩みごとなど、下記までご相談ください。

●美唄市役所企画課 ☎ 0 1 2 6 - 6 3 - 0 1 1 3 (平日 8 時 45 分～17 時 15 分)

●配偶者暴力相談支援センター(空知総合振興局内)

☎ 0 1 2 6 - 2 5 - 5 6 4 8 (平日 9 時～17 時)



「デュオの会」屋外活動

「Duoの会」の存在と活動内容を多くの方に知ってもらうため、2月5日に開催された「第59回美唄雪んこまつり」において会報17号を来場者の方に配布し、PR活動を行いました。



活動風景



美唄の子びっ子たちは大すべり台に歓声を上げるなど、多くの方が会場を訪れ、冬のお祭りを楽しんでいました。

これからも「男女共同参画」について皆さんに知っていただくために、さまざまな取り組みを行っていきます。

Duoの唄

このコーナーでは、主に会員から寄せられた、男女共同参画に関する様々な思いを寄せた唄を掲載しています。特に決まった形式ではなく、身近な生活の中で感じたことや疑問に思っていることなどを、川柳のような短い言葉で表現したものです。

会員以外の方からの唄も大歓迎ですので、自身で作った句を、ぜひ会報に載せてみませんか？興味のある方はぜひ事務局まで。

男
ボも
ー今
種ダ
なり
ペン
ネ
ーム
マ
ー
ヤ

や
ネ
イ
ス
の
・
エ
ス
テ

ム
初ス
恋メ
育の
育の
ベ士
ン
ネ
ーム
Y
子

編集後記

デュオの会に入会して1年が経過。先日、「男女共同参画いわみざわ」との活動交流会に参加させていただいた。

「男女共同参画いわみざわ」の活動歴にびっくり！上手に後継者を育てつつ30年間活動が続いている。それからみると「Duoの会」はまだ10年、まだまだひよっこかな？会員を増やし、後継者を育てて、長く続くよう頑張らなくては…（s）

「美唄市男女共同参画推進協議会（通称Duoの会）」会員募集中！

新規会員を募集しています。男女共同参画社会づくりに向けて学習し、家庭や職場・地域で身近に取り組める実践を目的としています。興味のある方は、ぜひご連絡ください。

◆問合せ・入会申込など◆

事務局（美唄市役所企画課内）

TEL 0126~63~0113へ